

FUKUSHIMA AIRPORT NEWS

福島空港は、玉川村と須賀川市にまたがる丘陵地に、福島県が管理する空港として平成5年に開港しました。現在は、札幌・大阪との2路線のほか、台湾とのチャーター便が1年を通して就航しており、空の玄関口として地域に貢献しています。

福島空港の冬の運用を支える～福島空港除雪隊～

冬シーズンの福島空港の運用には、滑走路や誘導路、エプロンの除雪が欠かせません。路面の積雪や凍結による定期便の遅延や欠航などが懸念される中で、冬の福島空港の運用を支えているのが「福島空港除雪隊」です。今回は、そんな福島空港の除雪隊をご紹介します。

福島空港除雪隊は地元の土木会社の従業員で構成されていて、積雪があれば日の出前の朝早くから出勤します。朝の飛行場点検が始まる7時30分までに、雪で白く染まった滑走路などを黒い路面が見えるまで除雪し、始発の大阪便を送り出します。

除雪隊は主に「スノープラウ車」「スノースイーパー車」「ロータリー車」「凍結防止剤散布車」4種類の車両で編成されています。



↑除雪車両の走行訓練の様子（11月）

スノープラウ車

スノープラウ車は、一般的なトラックにスノープラウと呼ばれる排雪板を取り付けた除雪車両です。滑走路などに積もった雪を端に寄せる役割を担います。福島空港では、4台保有しています。



スノースイーパー車

スノースイーパー車は、スイーパーと呼ばれる円柱形の回転ブラシを車体前方に取り付けた除雪車両です。スノープラウでは取りきれない雪や氷をスイーパーでかき出し、車体後方のブロワーで吹き飛ばす仕上げの役割を担います。福島空港では、5台保有しています。



ロータリー車

ロータリー車は、スノープラウなどで滑走路や誘導路の端に寄せた雪を、前面に装着しているオーガでかき込み、遠くへ飛ばす役割を担います。福島空港では、2台保有しています。



凍結防止剤散布車

凍結防止剤散布車は、融雪剤（尿素）を散布し、残った雪を溶かすとともに路面の凍結を防止する役割を担います。福島空港では、2台保有しています。

塩化カルシウムなどの融雪剤は、航空機を錆びさせてしまうため空港では使われません。福島空港が使うのは、機体に優しい尿素を散布すると、凝固点降下によって水が凍る温度が下がり、路面の凍結を防ぐとともに、路面上の雪を溶かします。



へこ太郎

その他にも！

航空機の防除雪氷作業

降雪時や低温時には、福島空港除雪隊の活動以外にも、(株)ANAエアサービス福島の職員が航空機の「防除雪氷作業」を行います。機体に雪や氷が付着すると、離陸に必要な揚力の減少などにつながり、安全な運航に支障をきたします。

そこで、防除雪氷液と呼ばれる液体を使用し、機体の雪を取り除くとともに、機体表面への積雪や着氷を防ぎます。

防除雪氷液には、「Type I」と呼ばれる機体の雪や氷を除去するオレンジ色の液体と、「Type IV」と呼ばれる機体への新たな積雪や着氷を防ぐ緑色の液体の2種類があります。



↑始発の大阪便の離陸前、Type IVと呼ばれる緑色の防除雪氷液を散布するANAの職員



へこ太郎

防除雪氷液に色を付けているのは、散布した場所を分かりやすくし、塗り残しを防ぐため！福島空港では、2024年度から有色の防除雪氷液が導入されています。

Event

福島空港・福島空港公園のイベント情報

イベント名	実施日	実施場所	備考
関西フェア	2/6(金)～4/12(日)	福島空港1階 ふくしま逸品堂店舗内	
ノルディックウォーキングで健康になろう	3/7(土)、3/21(土)	福島空港公園 緑のスポーツエリア	要予約、参加費・定員あり

※イベント情報は予定であり、変更となる可能性があります。お出かけの際は、下記公式ホームページのイベント情報をご確認ください。

福島県福島空港事務所

石川郡玉川村大字北須釜字はばき田21番地
0247-57-1111



福島空港
公式ホームページ



福島空港公園
公式ホームページ



福島空港事務所
公式ホームページ